

【冷却運転時】（花苗）

◆ 試験概要

目的：N.RECSの冷却効果を確認するため、運転時の培地温度を調査する。

内容：水温は10:00~11:35は10℃設定、11:35~13:30は7℃、13:30以降は15℃に設定した。

培地に設置したセンサーが15℃以上で電磁弁が作動し、14.5℃未満になると停止するように設定した。

(結果)

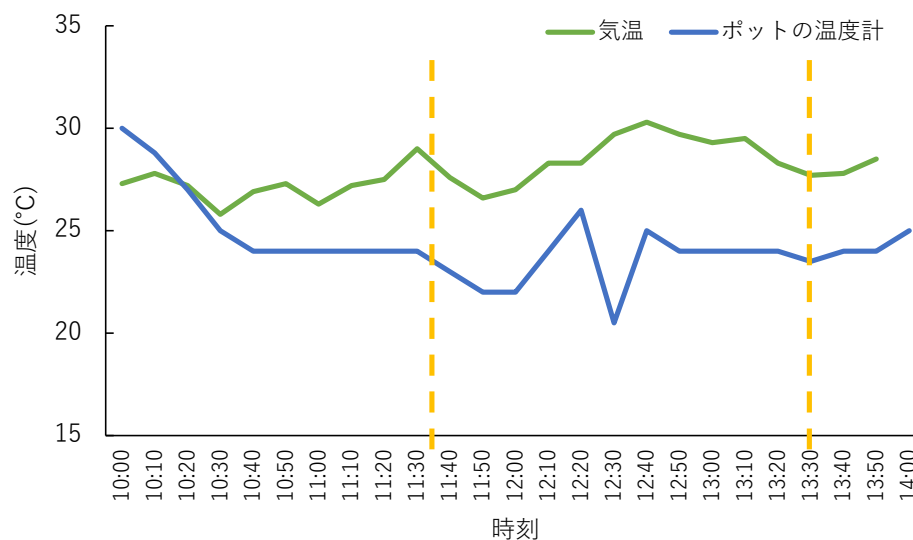
冷却装置の運転後、ポット内の温度が下がり冷却効果があることを確認することができた。

冷却することで培地温度が気温よりも平均して5℃程度（水温によって変化）下がる状態を維持することができた。

(考察)

今回はトンネルや遮光をかけずに実施したため、実際にはポット内の温度も日当たりに影響されることが考えられる。

今後は、夜冷を想定した運転も実施する。



グラフ 1 N.RECSにおける冷却運転時の温度の推移